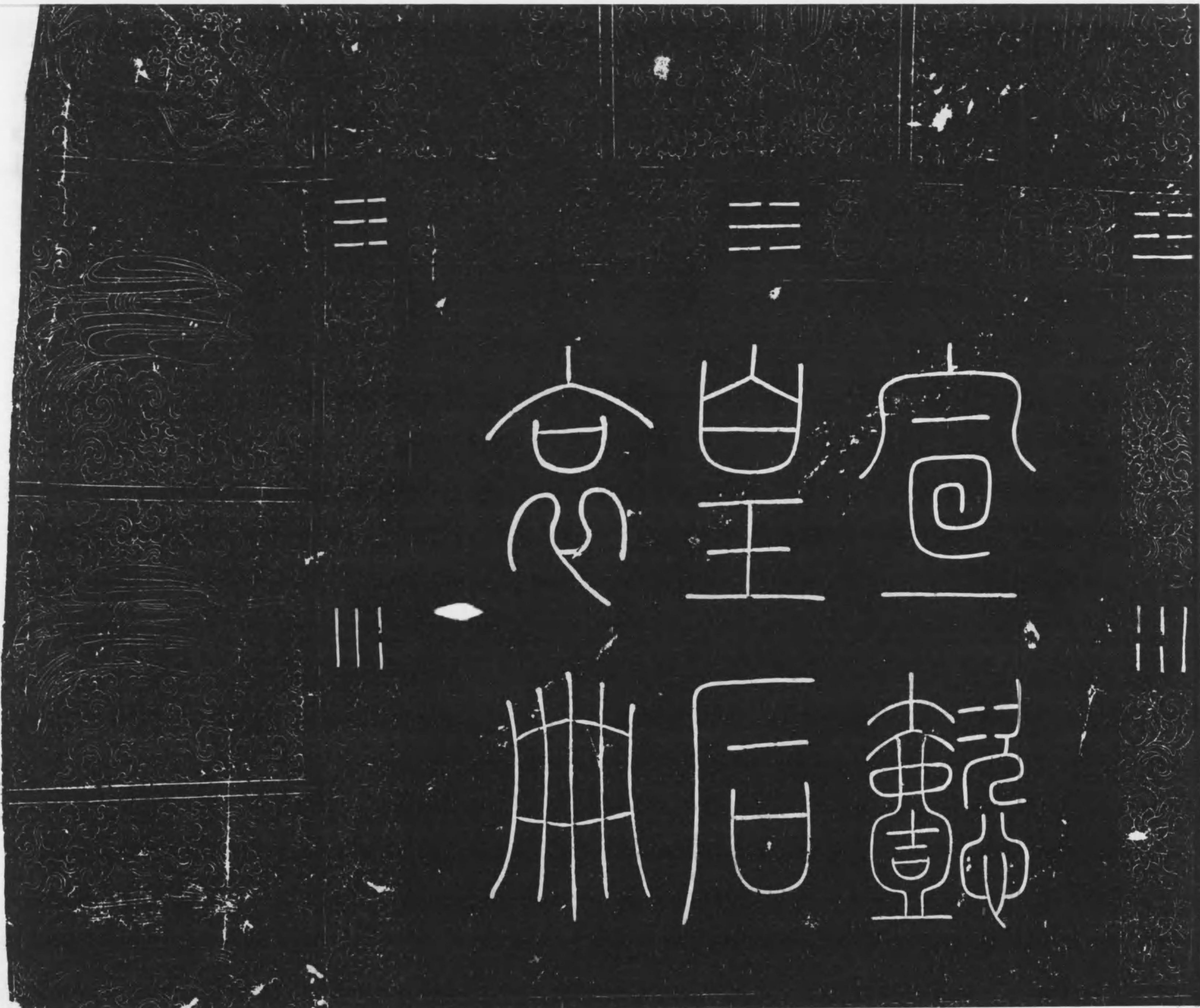


(原石縱橫各四呎四吋)



周
后
章
章

三三三

三三三

三三三

周 禮

三

三

三



三

三

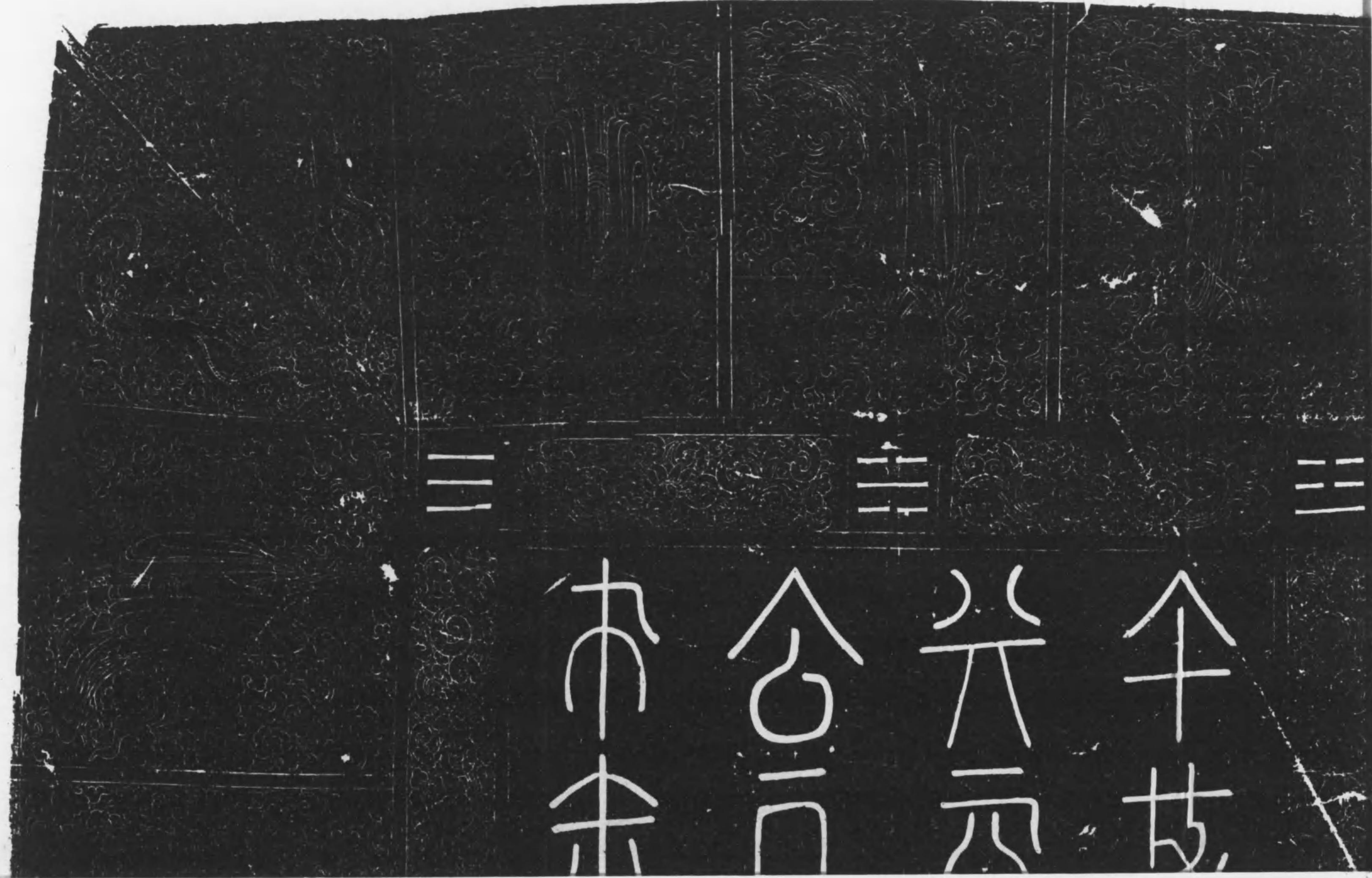
三

本
本

合
日

六
元

全
古

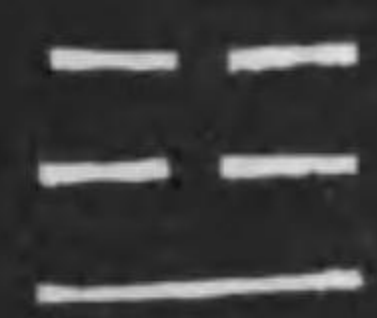


木
合
六
千
未
口
元
廿

☵

☷

☲



全 其 咄 矣



六 二 西 矣 百

合 二 月 未 及



未 未 未 矣



三

三

全 枝 咄 天

天 西 炎 百

合 二 木 及

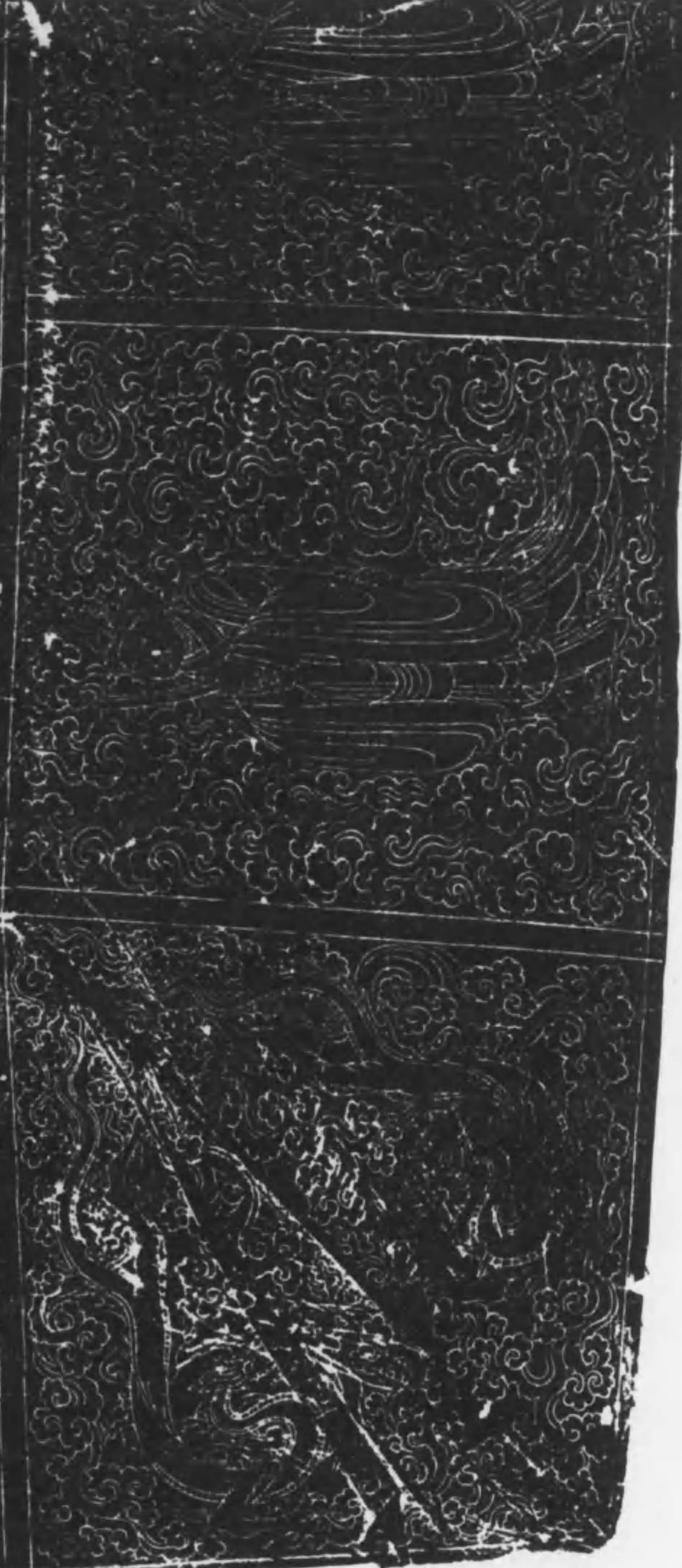
木 未 未 火

三

三

三

未火 木及 炎百 咄六

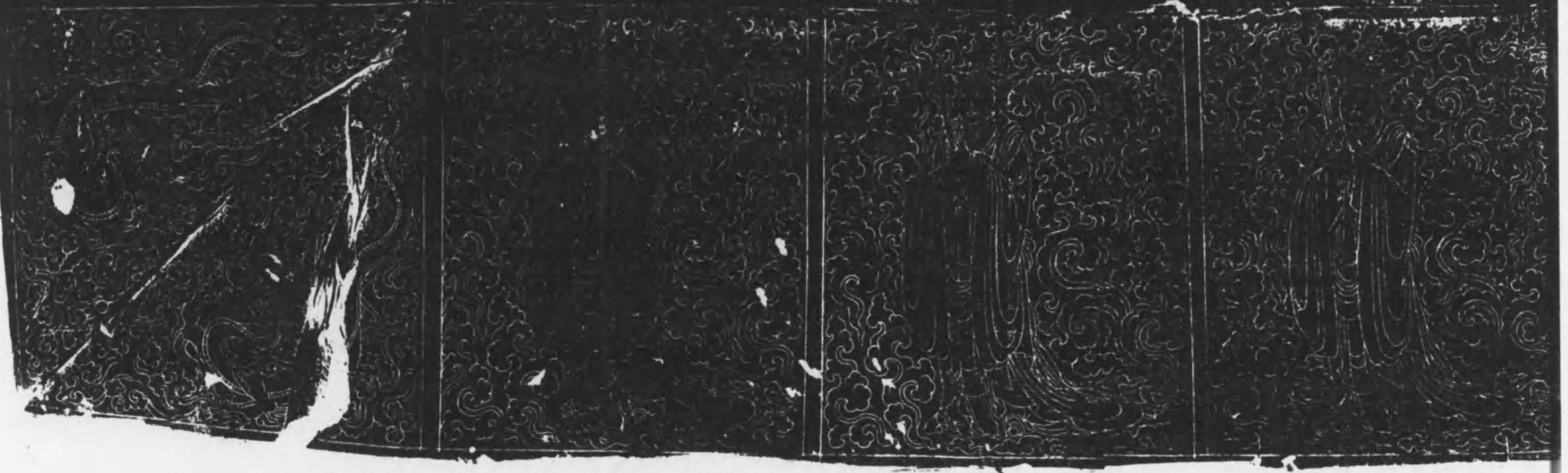
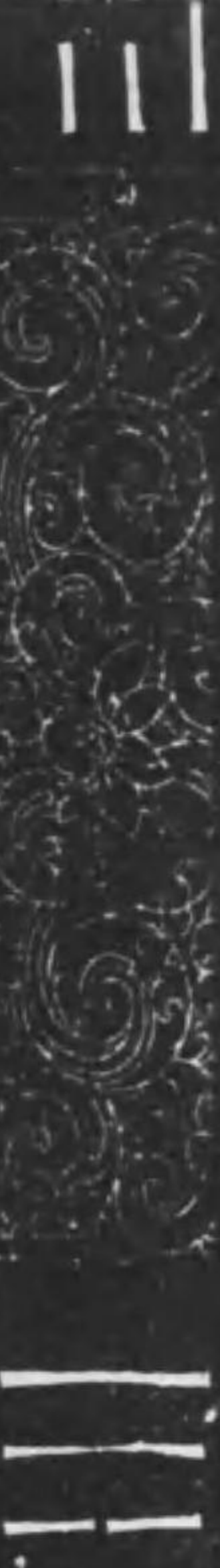


咄六

火百

木及

未火



故同知書門下致仕中曾公墓誌

其後有若仕于勃嶺之間者因籍為郡人子孫相繼衣冠不絕

至顯州觀察判官以公貴其子以公貴其子以公貴其子以公貴

皆丈夫新力為宜必繫先業之有無也顯太人亟章之侍也奇其

父老不之知後為其主之送官辭驗事運假主假主不暇公

州白其帥帥懼促收所依來言以公始

轉太子洗滌補中京留守常存故侍中城劉公之墓且直其事

一不預利害諸某更素憚皆疏所倡而曲知之皆獨不從也信怒

孫史得覆刑曹素簿改宣政殿學士陳公覺素與劾政不相能平方被

知大理寺正加秘書丞奉詔充高麗人使按律道出單陵故中書

不擇手者數日還樞密直學士大安二年授樞密副使右諫議大夫

矣然則恐非國家之利亦如遼東驚為渤海之國自漢民更居者

下泊諸蕃職不與焉以是東事畢中府置一論事連承情

其言其言其言其言其言其言其言其言其言其言其言其言其言

遣之其老弱瘠瘵不能自活者皆送之於外於春何物

其善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善善

自固公遠折之日其善善善善善善善善善善善善善善善善善

其先出于周之同姓之國春秋時有賈李兩氏代為名族至兩漢誼山

可渤竭之間者因籍為燕人子孫相繼不絕至公之七世孫日漢

去後竟于結晉王以詩書乃太師之仲子也朝廷以其才望為民所推服

祭判官以公貴則晉國軍節度同中書門下平章事王母妙代追封韓國

之召入之待以大夫父在恩歸奉親請終于家贈贈義軍節度使中

公貴夫公除志之後果生公七歲能誦書帝詩十歲皇考侍中以兄

為豈少繫先業之有無也願太人亟卓之侍也奇其言恣兄取年十

將議上其事阻礙遂寢十九試禮部奏御三寸有立登第授秘書省

為其主之選官辭職事運假主假主懶不服公過潛捕其家收詭詰

安卒哭既東京起院使著督公諱綽有餘美時御史董儲兒得幸地

之人或錢物甚為姦擾公至縣潛訊民使訴之其始至者一二人公

物皆以資民食之不給也民得取所以濟農力也何害之有因緩其

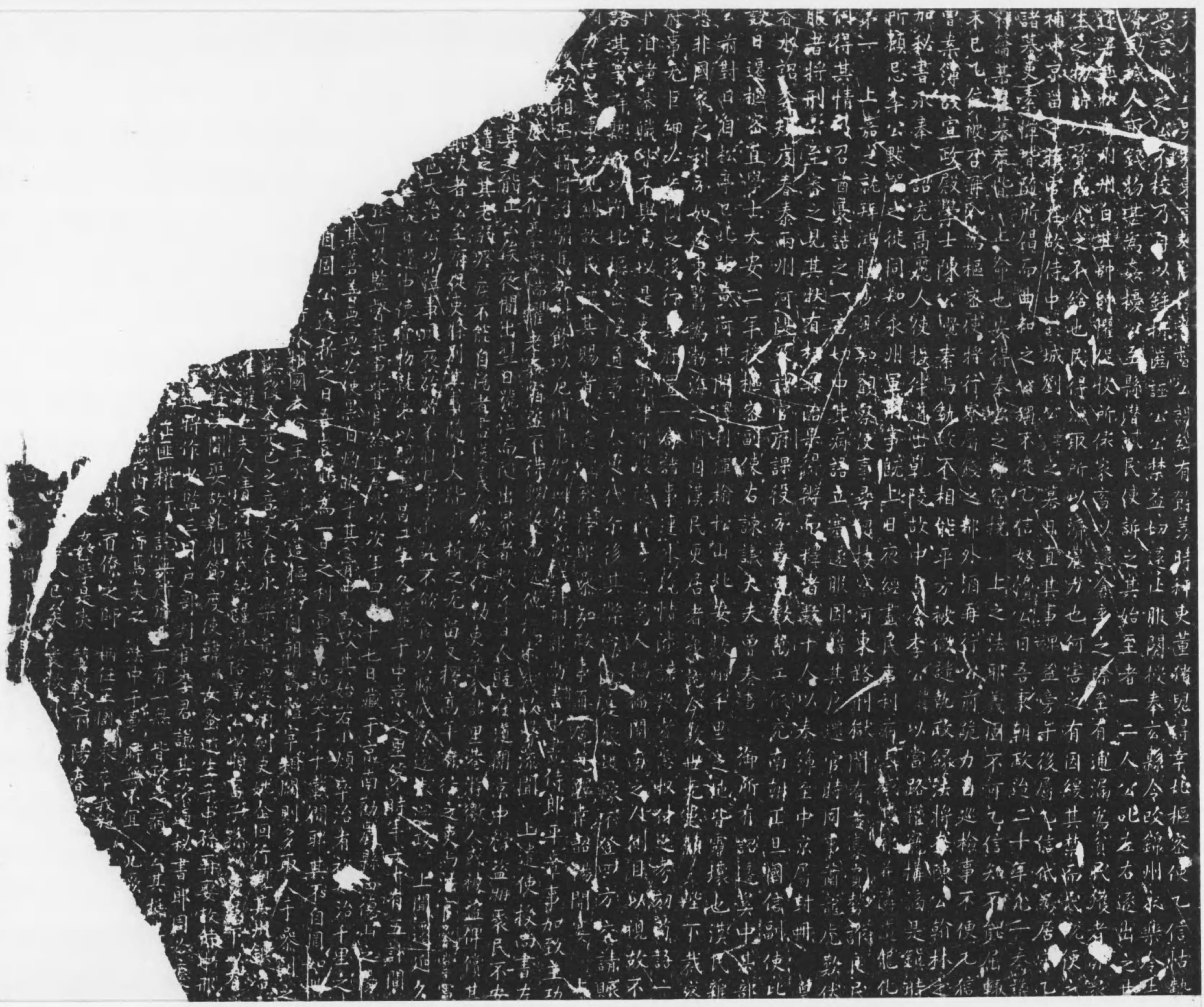
史素憚皆隨所倡而曲和之必獨不從也信怒格公曰吾秉朝政逾

喜其幕府也止命也安得奉公之勢也上之法耶我固不可乞信知

七位被否非不為樞密使將行察察之勢也上之法耶我固不可乞

簿故宜政殿學士陳公覺素與勤政不相能平方被微譴既執政綠

昔亦奉 詔充高麗人使授伴道出東陵故中自余李公以當路權



忠言北之心... 不校乃自以... 錢物堪為... 州自其... 生之物... 補中京... 諸案更... 未已... 加秘書... 所願... 第一... 似得其... 服者... 谷水... 數日... 前對... 恐非... 府第... 下泊... 諸其... 力言... 故相... 莫之... 遣之... 也夫... 此決... 也夫... 其善... 自固... 相國... 夫... 全... 正... 百... 女... 已...

(原石縱三呎五吋橫三呎四吋)

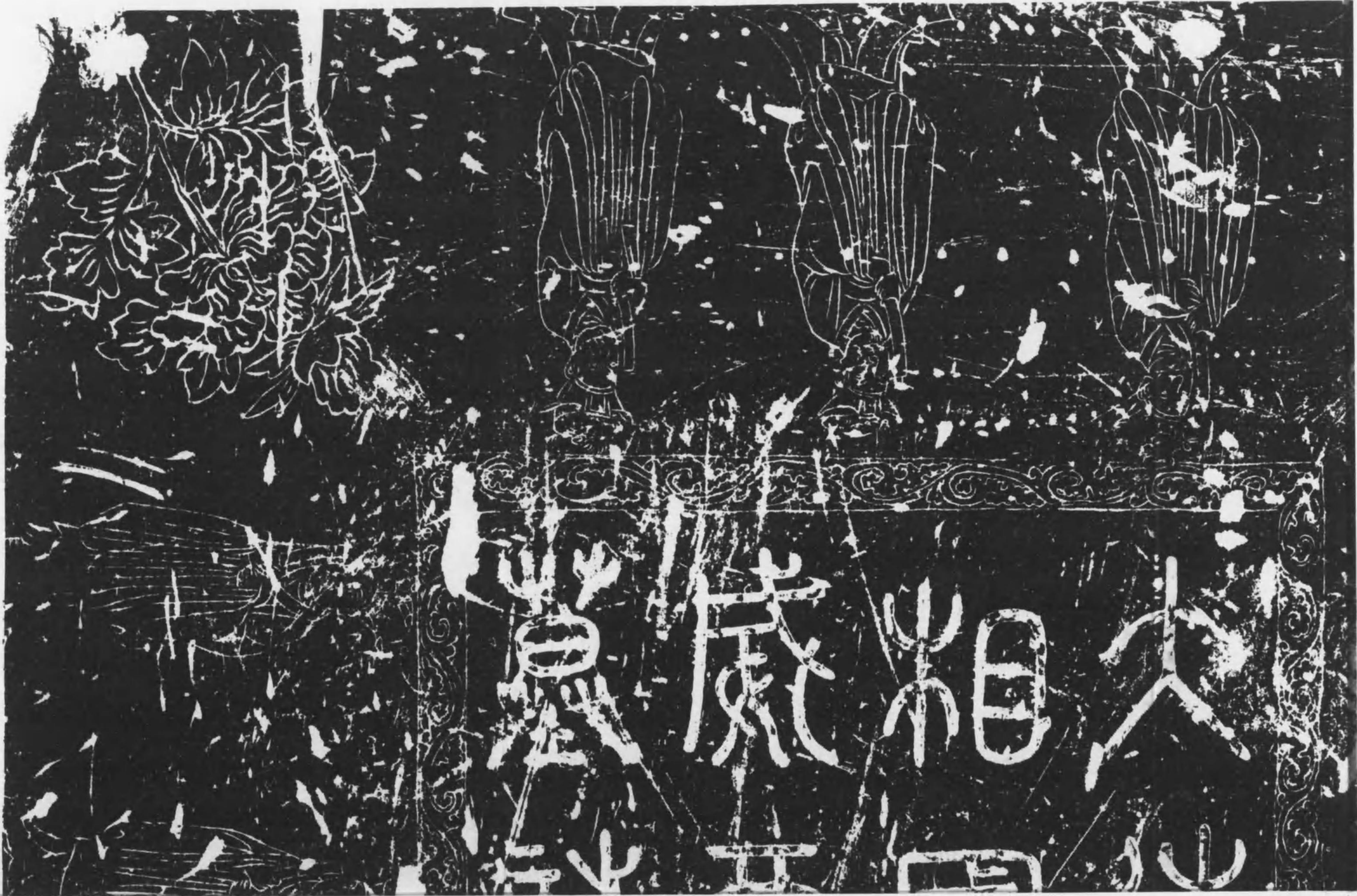
大尚書吏部郎中史... 兩漢山... 工役... 萬民... 代... 美軍... 侍中... 取... 立... 家... 幸... 云... 二... 有... 有... 子... 朝... 因... 疏... 政... 以... 以... 秋... 選... 夫... 充... 御... 里... 分... 分... 而... 在... 高... 成... 下... 若... 笑... 麗...

... 吏部郎中... 兩漢山... 工役... 萬民... 代... 美軍... 侍中... 取... 立... 家... 幸... 云... 二... 有... 有... 子... 朝... 因... 疏... 政... 以... 以... 秋... 選... 夫... 充... 御... 里... 分... 分... 而... 在... 高... 成... 下... 若... 笑... 麗...

本云縣令改錦州... 一二人公叱左右... 其有通漏... 之有因緩... 守子後... 長朝政... 則疏力... 既政錄... 以當路... 利病... 州缺... 以去... 以充... 御所... 十里... 今數... 而開... 使... 上... 成... 賦于... 若小... 笑于... 體... 以... 公... 君... 一... 十... 之... 下...







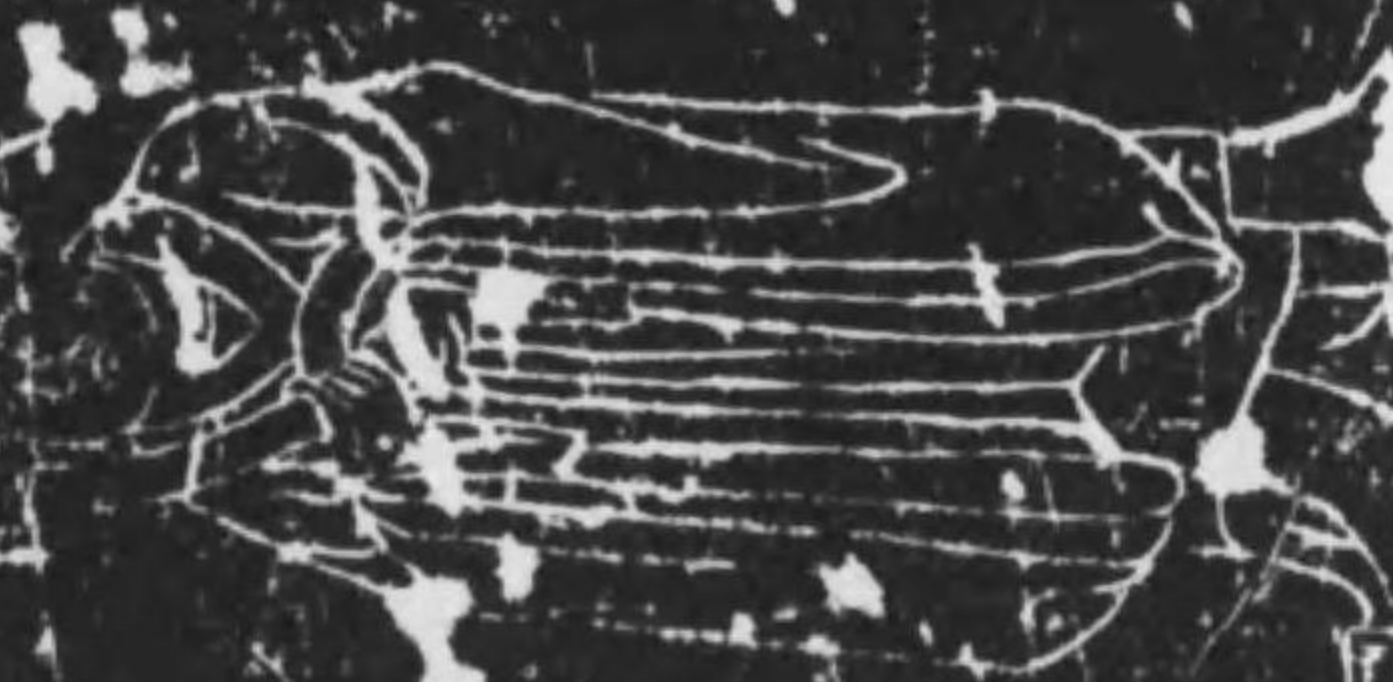
遼陵石刻集錄卷二

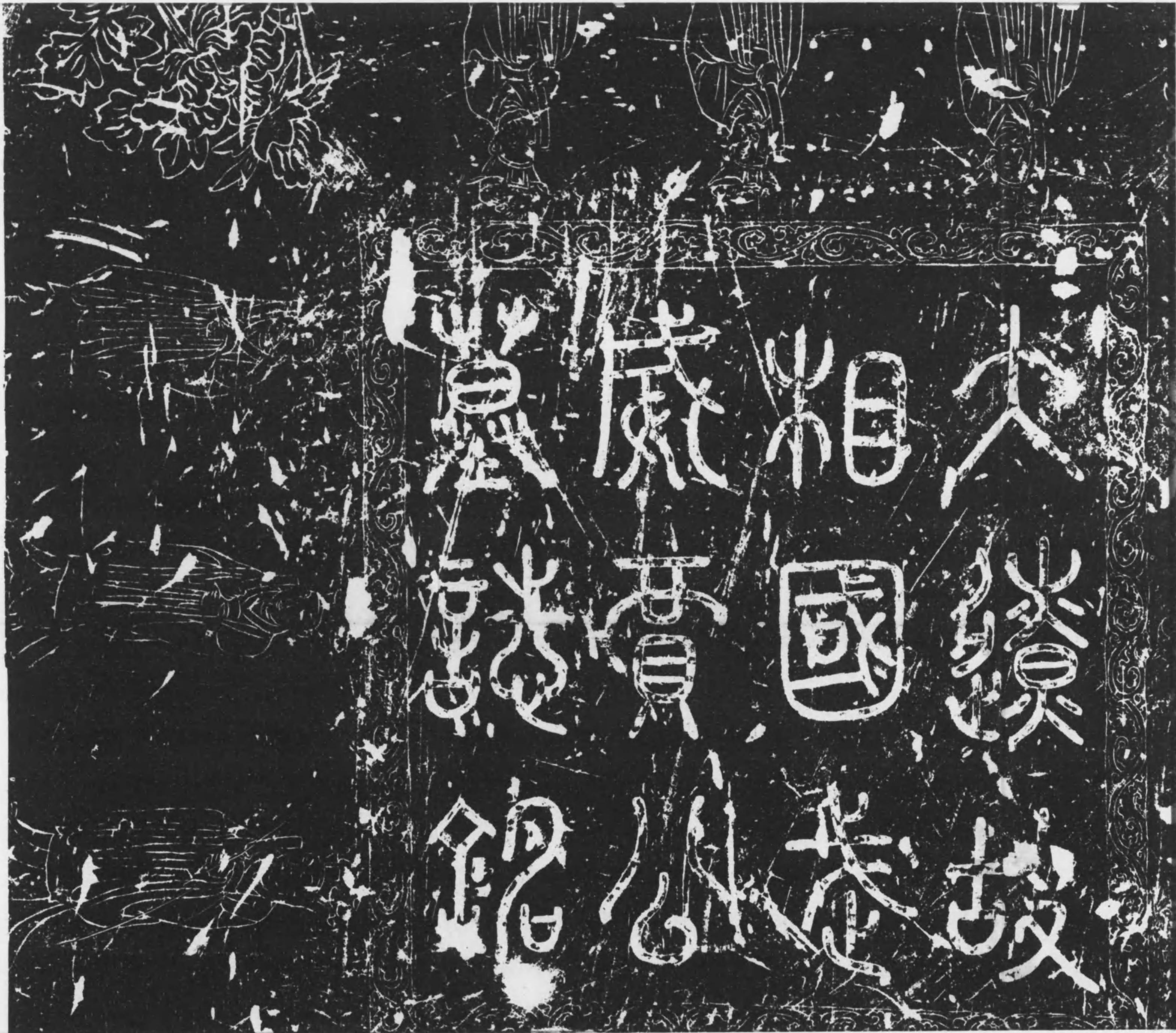
第十九葉

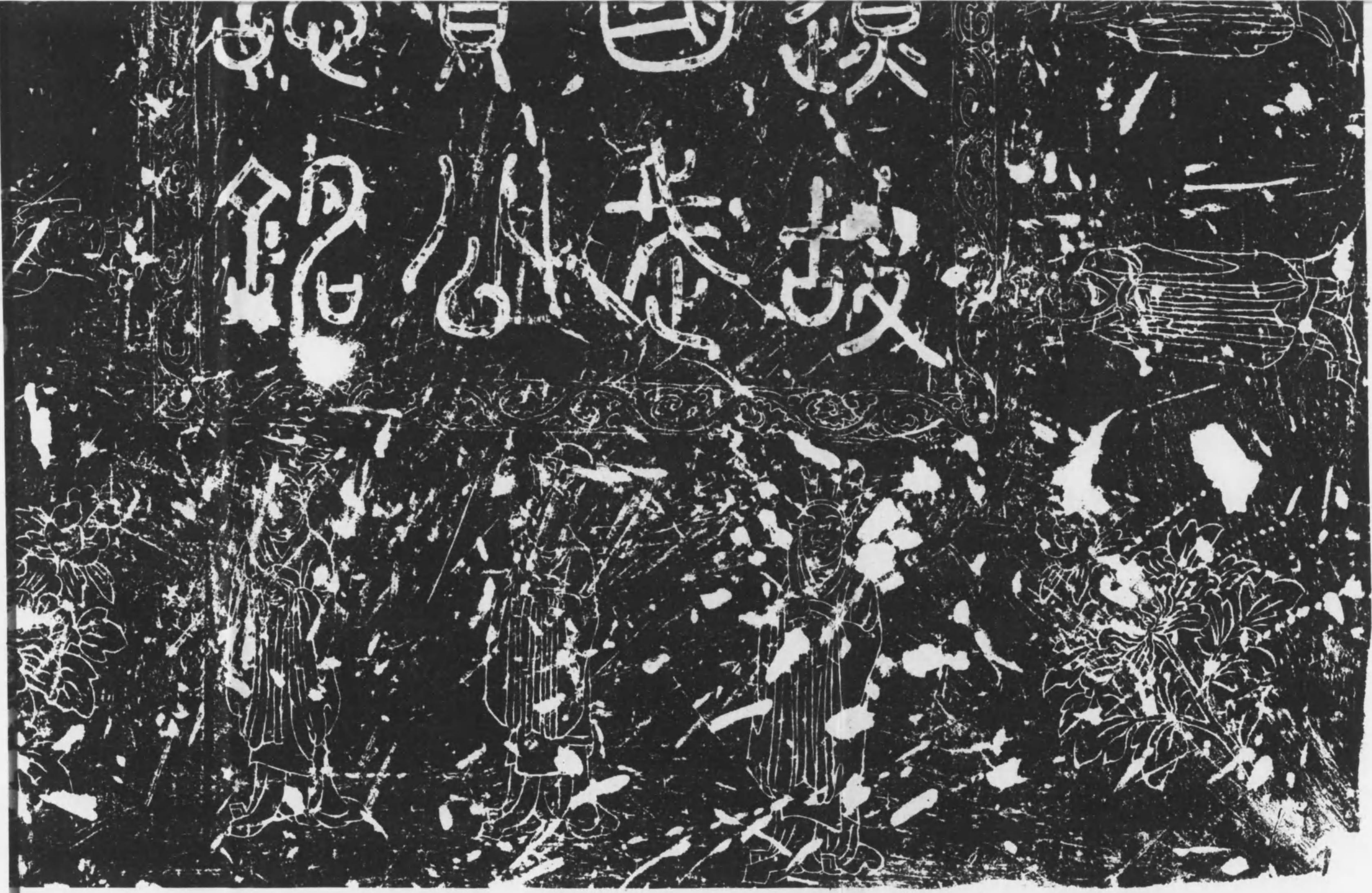
遼相國賈師訓墓志篆蓋附錄二

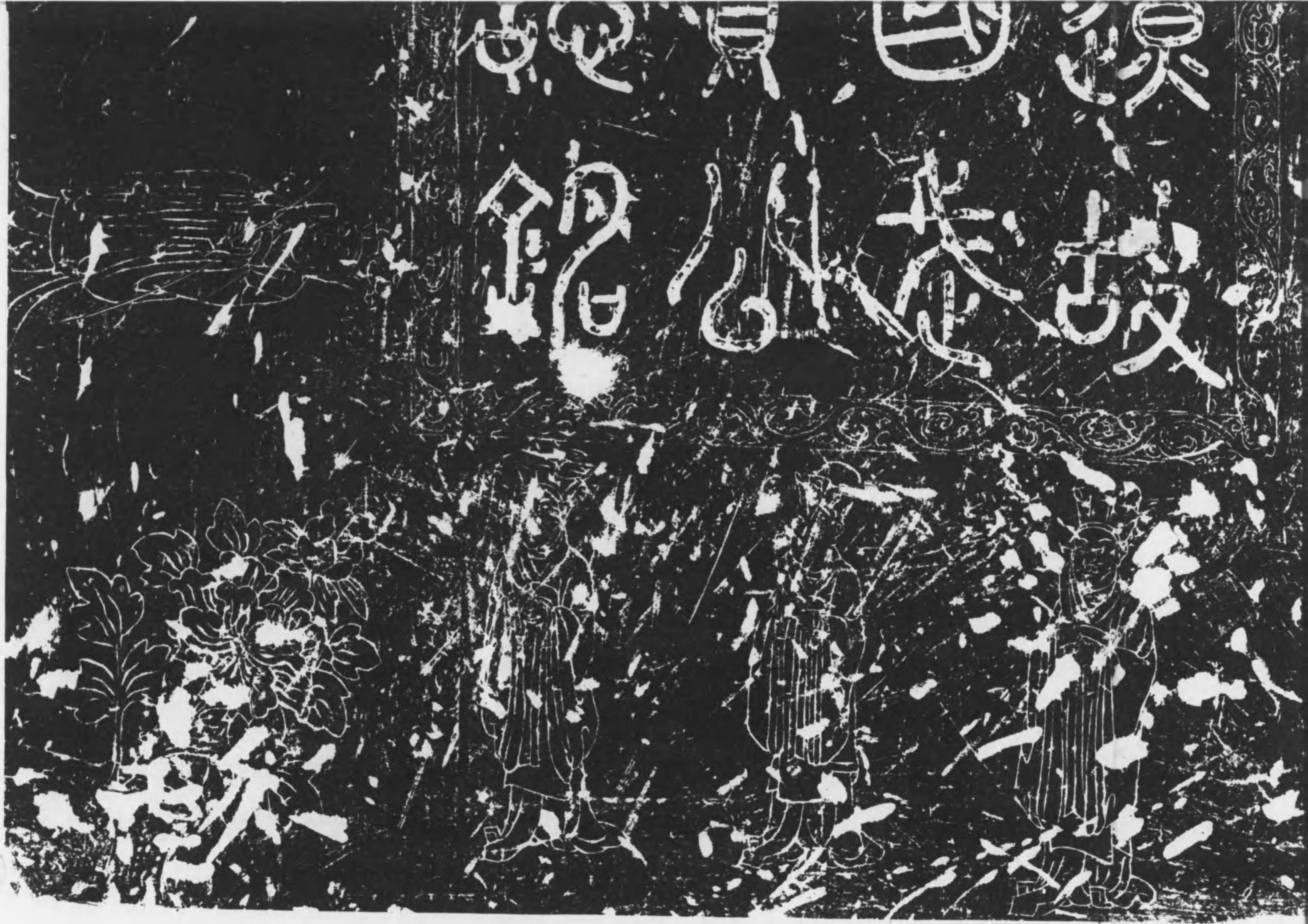
(原石縱三呎三吋)

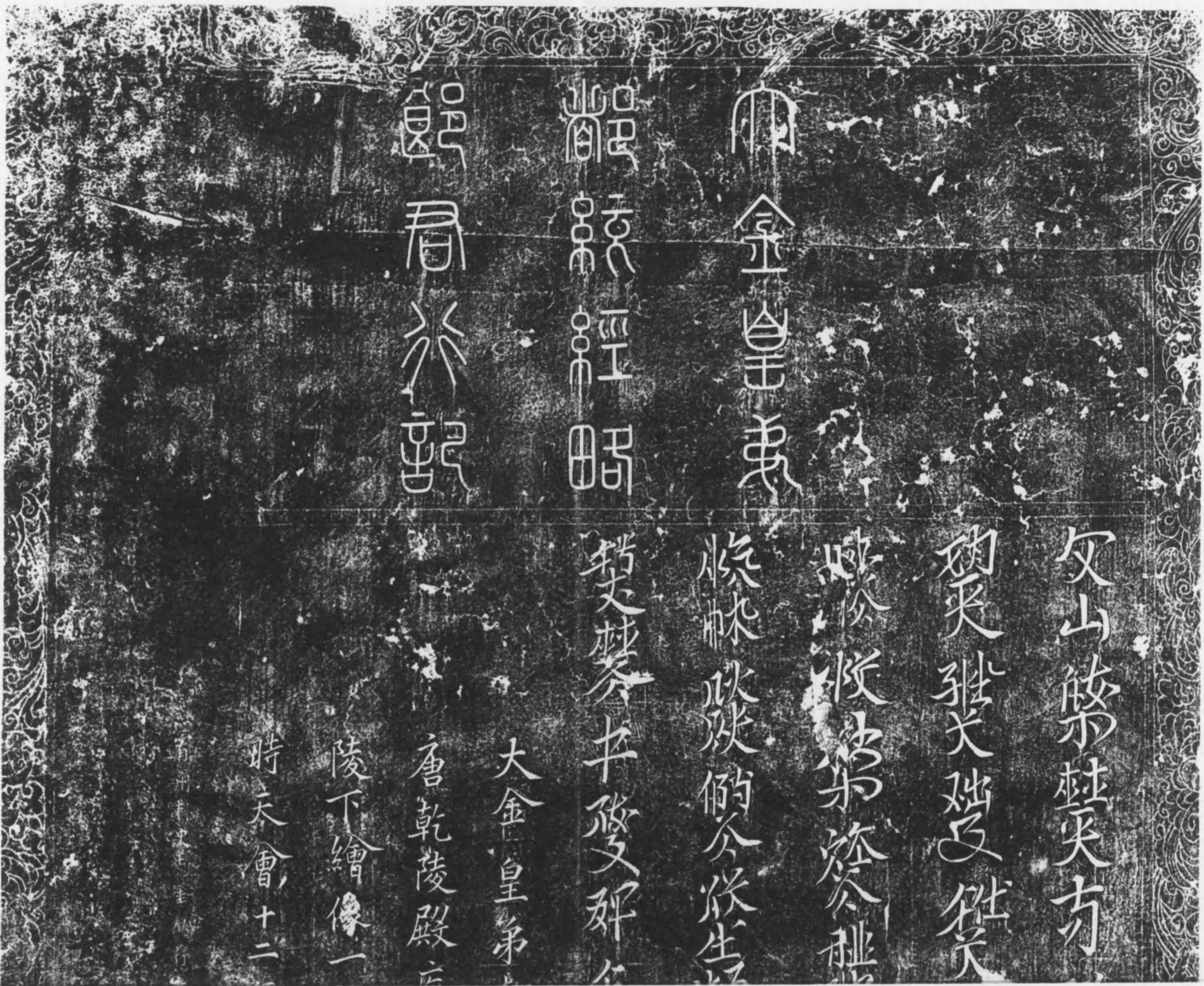
大相國公
威靈
赫奕
功在
萬古
銘











大金皇弟
 經畧郎君
 行記

父山簡亦楚天方
 功奕繼天燹及從
 收公楚公楚
 收公楚公楚
 收公楚公楚
 收公楚公楚

大金皇弟

唐乾陵殿

陵下繪像一

時天會十二

軒祠燬髮劫去林幹劫采火燬性
不劫相矢燄燄燄燄燄燄燄燄燄
燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄
燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄
燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄燄

天爵

成化錄錄考卷未敘於此 持撰批於左未敘主司於此

既經略郎君嚮巨疆場無事獵于梁山之陽至
然一無所睹爰命有司鳩工修飾令復謁
廊四起不勝欣澤與醴陽太守酣飲而歸

咸次甲寅仲冬十有四日 尚書職方郎中黃 應期

論題
右譯前言 明宗初年有上已及都邑仰樹著

或后西其其性得驚后西地無秦皇記也

遼陵石刻集錄卷第二終

300
22

終

